



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床衛生検査技師会
 発行責任者 清井健司
 編集者 佐々木由紀子 白波瀬浩幸
 廣瀬 真理 芦田 英之
 小澤 優 山口 俊朗
 〒602-0067 TEL・FAX 075-821-6711
 京都市上京区千本竹屋町主税町 910
 (京都保健衛生専門学校内)

臨時総会開催される 定款変更議案 可決！

平成 17 年度臨時総会が、平成 17 年 10 月 13 日 (木) 京都保健衛生専門学校 (視聴覚教室) において開催され、第 1 号議案の「会の名称変更」、第 2 号議案の「副会長の人数変更」について、それぞれ可決承認となりました。

平成 17 年 10 月 13 日 (木) 京都保健衛生専門学校 (視聴覚教室) において平成 17 年度臨時総会が開催されました。今回の臨時総会は 5 月の定期総会において議案審議し、可決した「会の名称変更」と「副会長の人数規定変更」について賛成人数が不足しており定款変更に至らなかったため再審議となったものです。

当日の臨時総会出席者は正会員数 921 名に対して総会参加者 20 名、代理人表決 236 名、書面表決 503 名であり、定款の定めによって総会成立の報告があり議事進行となりました。

第 1 号議案の「会の名称変更」について副会長の白波瀬浩幸の説明のあと会場より日本臨床衛生検査技師会は会の名称変更についてどの様に考えているのかと



の質問があり、会長の清井健司が変更の方向ですめているとの返答でした。賛否は会場出席者全員賛成、書面表決による賛成 497 名、反対 6 名で総賛成数 753 となり正会員数 921 名の 4 分の 3 以上の賛成により可決承認となりました。

続いて、第 2 号議案の「副会長の人数変更」について副会長の白波瀬浩幸の説明があり会場からの質問はありませんでした。賛否は会場出席者全員賛成、書面表決による賛成 481 名、反対 22 名で総賛成数 737 となり正会員数 921 名の 4 分の 3 以上の賛成により可決承認となりました。

会の名称変更については京都府庁へ変更申請し認可を受けた日より新名称となります。(小澤)



メールアドレス登録のお願い

京臨技では、日臨技や近臨技からの連絡事項のなかで比較的急を要するものについて、メールを利用した情報伝達を図りたいと思います。

京臨技のホームページ管理アドレス (webmaster@kyoto-amt.js-md.net) まで、件名: アドレス登録、内容: 所属・氏名・会員番号を記入して送ってください。できるだけ多くの会員のみなさまの登録をよろしく願います。

第 32 回 くらしと健康展報告

9 月 17 日 (土)・18 日 (日)
京都府総合見本市会館 (パルスプラザ)

くらしと健康展 担当理事 荻野和大 (三菱京都病院)
菊池鈴子 (京都第二赤十字病院)
芦田英之 (京都第二赤十字病院)



【はじめに】

第 32 回くらしと健康展が 9 月 17 日 (土)・18 日 (日) に、京都府総合見本市会館 (パルスプラザ) で開催された。併催の『SKYふれあいフェスティバル 2005』の会場内で行われた。主催は京都府医師会・京都府糖尿病協会・京都市栄養士会・京都府臨床衛生検査技師会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・京都禁煙推進研究会・京都市・京都府。今年のテーマは、『めざそう健康長寿日本一』でした。

臨床衛生検査技師会は、検査コーナーを担当し、例年通りの心電図検査と血糖検査に加え末梢血管モニタリング装置でヘモグロビン量測定を貧血検査として実施しました。

両日で検査コーナーに来られた方は、心電図検査 639 名、血糖検査 1389 名 (17 日 695 名、18 日 694 名) 貧血検査 954 名。昨年以上に多くの方が検査コーナーに参加されました。今回初めて行った貧血検査では、採血不要・短時間で血液ヘモグロビン量を測定できるという事で常に行列ができていました。特に、女性は貧血への関心が高いのか、大半が女性で若年層の方も多く検査に来られました。出務者は、技師会会員 28 名。

また、血糖検査では簡易血糖測定器をロシュ・ダイアノスティックスに、心電図検査は心電計を日本光電関西、貧血検査では末梢血管モニタリング装置をシスメックスに貸与して頂きました。

【血糖検査】

今年も例年のように二日間で 1300 人を超える人に血糖検査を行った。血糖値が 200mg/dl 以上を示した人は 59 名と全体の 4.5% を占める。境界領域とされる随時血糖値 140mg/dl 以上 200mg/dl 未満を示した人は 157 名でありこちらは 11.8% となり、糖尿病型、境界領域型を合わせると全体の 15% を超える割合となる。

血糖検査を通して糖尿病という病気の難しさをかいま見ることが出来る。糖尿病に向き合う姿勢は人それぞれで全く異なる。インスリンを必要とする段階にまで進行しているのにほとんど知識を持ち合わせていない人。痛みも何も感じないのでほっておいてもそのうち治るだろうと思っている人。お酒は 1 日何本まで飲めるのか、酒の話だけする人。毎日、自己血糖測定器で詳細なデータを取り、医師に示すが自分の考えている様には治療方針をたててくれないとぼやく人。まさしく糖尿病はその人の生活や人生観にしっかりと結びついている。糖尿病に関わる医療人はこのことをしっかりと理解しなくてはならない。

糖尿病療養指導士の重要性はますます増大するであろう。この、くらしと健康展の様な催しがさらに発展することを期待する。(京都府立医大附属病院 臨床検査部 南部 昭)

【心電図検査】

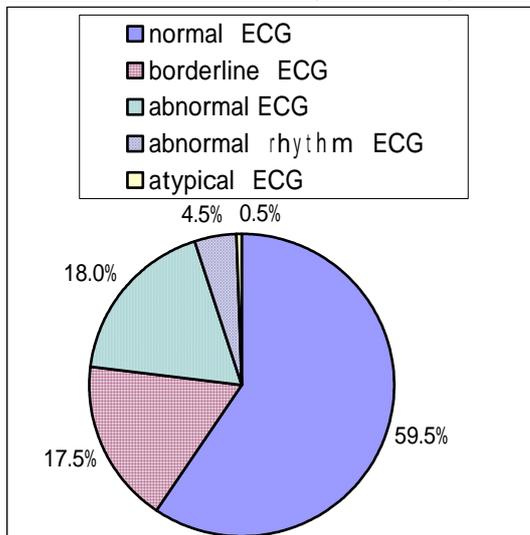
私は心電図検査担当として今年初めて参加しました。心電図検査は毎日、病院で行っているのが普段どおりに行えばよいと思っていました。しかし、今回の催しでは一日に平均 320 名、両日合わせて約 640 名が検査に訪れました。これは病院で一日に行う心電図検査の数をはるかに超えており、このような大人数の心電図検査を行ったのは初めてで、とても驚きました。また、心電図検査を行った際、心電図波形と同時に心電

【心電図検査】 (受検者数)

年代	女性	男性
10代未満	0	1
10代	1	3
20代	16	4
30代	25	15
40代	13	13
50代	48	29
60代	117	70
70代	117	113
80代	33	20
90代	1	0
計	371	268

(判定結果)

判定	女性	男性
normal ECG	244	136
borderline ECG	54	58
abnormal ECG	52	63
abnormal rhythm ECG	18	11
atypical ECG	3	0
合計	371	268



計がつけた所見を見ることができるのですが、この所見は私たちが波形を見てつける所見より厳しくなっているように感じました。(京都医療センター 研究検査科 岸本 江里子)

【貧血検査】

貧血検査といえば採血と思われるが、手指の血管を使って簡単にヘモグロビン量を測る機器が開発されている。今回はその機器を貸与していただき非観血的ヘモグロビン量測定をおこなった。痛みもなく、短時間で検査できるため好評で 17 日 472 名、18 日 482 名、合わせて 954 名の方のヘモグロビン量を測定した。手指を使っての検査のため、手が冷たい人はうまく測定できないので手を温めてもらってから測定した。

“先日病院で貧血といわれたが今回は正常範囲であった”という方もおられたが、ヘモグロビン量が少ない方は、大体これまで「貧血です」といわれている方が多く、データも安定しているようであった。男性の方の貧血もけっこう見られた。ヘモグロビンと聞いて HbA1c の測定と間違えておられる方もいたが、その場ですぐ自分のデータが判るといことで若い方から年配の方まで幅広い方が測定され、『痛くないのですね。すごいですね。』『こんな機械が増えるといいですね。』などの感想も聞かれた。(京都市城南診療所 佐々木 由紀子)

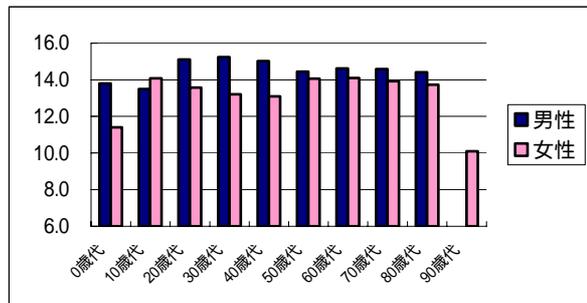
【最後に】

多人数の検査を行うため流れ作業になりがちではあるが、病院では聞けないことや、検査内容や基準値についての質問などを受けた。我々、臨床検査技師が病院や検査センターで専門的知識を持ち検査に従事している事を一般市民に啓蒙するよい機会でもあった。住民の市民検診受診への啓発が行政の重要な役割であると共に、医療に携わる職域団体が主催する、くらしと健康展のような活動がより多くの地域で活発に行われる事を期待する。

出務に協力して頂いた各研究班および理事、検査機器を貸与して頂いた各メーカーの皆様には心から感謝いたします。(荻野)

【貧血検査】

ヘモグロビン値 (g/dL)	全体	男性	女性
8.6 -9.0	1	0	1
9.1 -9.5	1	0	1
9.6 -10.0	0	0	0
10.1 -10.5	6	0	6
10.6 -11.0	8	1	7
11.1 -11.5	20	5	15
11.6 -12.0	44	3	41
12.1 -12.5	66	7	59
12.6 -13.0	85	17	68
13.1 -13.5	103	14	89
13.6 -14.0	110	23	87
14.1 -14.5	112	31	81
14.6 -15.0	119	32	87
15.1 -15.5	120	44	76
15.6 -16.0	130	60	70
16.1 -16.5	21	14	7
16.6 -17.0	3	2	1
n	949	253	696
平均値	14.0	14.7	13.8
最小値	8.9	10.6	8.9
最大値	16.7	16.7	16.6



KBSラジオ「早川一光の人間ばんざい」出演

京都第二赤十字病院 芦田 英之

第 32 回くらしと健康展のPRのため、9 月 10 日(土) KBS 京都のラジオ番組「早川一光の人間ばんざい」に出演した。当日は、早朝 6 時に KBS ラジオのスタジオに入った。出演時間は 8 時であるが、時間を作って頂いた以上はスタジオに足を運んで待機している事が礼儀だと思ったからである。

「暮らしと健康展とはどんな催しですか?」「イベントの趣旨や今年のテーマは?」「展示全般の内容は?」「検査コーナーではどんな検査ができるのですか?」「検査結果からわかることは?」「結果はその場でわかるのですか? 異常があった場合の指導やアドバイスも受けられるのですか?」

司会の方(北出真紀恵アナウンサー)とは、上記の内容で話を進めていく予定でしたが、早川先生はその間に、色々とお話をふって下さるので、その対応にも「とんちんかん」な事を言わないように、また自分の言葉で話しているか、気をつけながら話したつもりですが不安である。いつも反省です。

KBS ラジオ出演も 5 月の第 54 回日本医学検査学会の「市民フォーラム」の宣伝に来て以来ですが、会場の見学者の方々とも顔見知りになっています。私の職場と KBS が近所であるために見学者の方々とは何処かで会っているのかも? ラジオと言わず、テレビでも臨床検査技師の知名度アップに貢献しますよ!



第45回近畿医学検査学会

学会期間：10月15日（土）・16日（日） 学会会場：ピアザ淡海ほか

京都第二赤十字病院 芦田 英之

第45回近畿医学検査学会が平成17年10月15日（土）・16日（日）大津市のピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）にて開催された。



学会のテーマは、『Chance to Change』～研こうスキル(技術)・拡げようフィールド(職域)～であった。特別講演では「宇宙と生命」- 無重力空間の可能性 - と題して宇宙飛行士の毛利衛氏が講演された。公開講座では「ハンセン病とわたし」- 人間として生きる - と題して元国立療養所長島愛生園自治会長の石田雅男氏が講演された。

その他、学会企画として、シンポジウム7題、イブニングセミナー7題、ランチョンセミナー8題の発表があり、シンポジウムでは、
 職域拡大～これからと現状～、
 形態検査における精度管理を考える～それぞれの分野から～、
 今後に求められる感染症検査 - DPC 時代に求められる感染症検査 -、
 予防医学における検査のかかわり方～borderline から考える予防医学～、
 尿定量検査の見直し - 現状把握から -、
 輸血療法の標準化～臨床検査技師にできること～、
 B型肝炎検査～What do you recommend?～と、タイムリーなテーマのものが多かったと思われる。



一般演題は92題の発表があり、各会場は熱心な質疑応答があった。私は同僚が発表するのでその会場に足を運んだ。職場で発表練習をして予想質問も考えて

望んだ。時間に制限があるために、全てを発表出来るわけではない。十分説明が必要で、その時間をかせぐためには、質問を上手に使う、発表者の言いたい事について会場から質問があると・・・やったと思う訳である。今回は、まさに的中したと思っている。「よくぞ、聞いてくれました」の心境である。

発表する方で、質問を受ける事を嫌がる傾向だが、質問も上手に使用すれば、また、時間外で発表できるのである。何事もポジティブ思考でいきたいものだ。想定外の質問には、素直に、答える事が最善である。知らなければ、知らない。調べていなければ、調べていません。と言えば良いのである。話が逸れてしまったが、発表に関しては事前に十分、準備していけばよいのである。



天候は、土曜日は大雨であったが、参加者は多く、日曜日はうって変わって晴天に恵まれた。両日で千人以上の参加者で盛会であった。スタッフの方々も準備の疲れを感じさせず、楽しく学会に取り組んでおられた。展示のブースを設けない事で、運営作業も軽減されたと思う。また、今回から日本臨床検査医学会との合同運営であったが、メリット、デメリットについては今後検討されると思う。



京都での近畿医学検査学会から2年も経ったが、次回の京都担当までは十分時間があると思っていると、意外と早く来るものである。今から事前に準備である。滋賀県臨床衛生検査技師会の皆様、有難うございました。来年の福井県での第46回近畿医学検査学会の成功を祈ります。

Scope

スコープ

新たに実施される「特定療養費制度」

拡大する特定療養費制度

【C E A、A F P：自由診療も可能へ】

10 月から新たに「制限回数を超える医療行為」が特定療養費制度で実施されることになった。

これは“混合診療の禁止”の例外で、その費用を患者から徴収できるというものである。

そもそも、「特定療養費制度」って何？

「自由診療」と「保険診療」は併用できない“混合診療の禁止”の原則がありますが、例外として「混合診療」が認められているものもあります。それが、「特定療養費制度」です。その対象は、高度先進医療と選定療養に限られて認められており、国が認めた“混合診療”は、年々拡大しています。

高度先進医療 109 種類、356 件（2005 年 9 月 1 日現在）

選定療養

1. 特別療養環境室（差額ベッド）への入院（1984）
2. 一定の前歯の治療に金合金などを使用（1984）
3. 緊急やむを得ない場合を除き、紹介が必要な 200 床以上の病院での文書紹介のない初診（1986）
4. 予約に基づく診察（1992）
5. 緊急患者を除く診療時間外の診療（1992）
6. 金属床による総義歯の提供（1994）
7. 薬事法規定による治験に係る診療（1996）
8. 小児う蝕（虫歯）患者への指導管理（1997）
9. 200 床以上の病院の再診（2002）
10. 医療機器の治験に関わる診療（2002）
11. 薬事承認後、保険収載前の医薬品にかかる診療（2002）
12. 入院期間が 180 日をこえる入院（2002）
13. 保険収載された新薬の適応外投与（2004）
14. 薬事承認後、保険収載前の医療機器にかかる診療（2005）
15. 一定の要件を満たした医療期間における先進医療（2005）
16. 制限回数を超える医療行為（2005 年 10 月～）

今回、腫瘍マーカー、リハビリテーション、精神科専門療法の 7 項目が対象で「特定療養費制度」により、保険で規定した制限回数を超えて実施された検査などについては、「保険診療」と「自由診療」との併用が可能になります。保険給付との併用が認められるのは、以下の 7 項目です。

（1）腫瘍マーカー検査

A F P：α-フェトプロテイン、同精密測定

C E A：がん胎児性抗原精密測定

（2）理学療法（個別療法）（3）作業療法（個別療法）（4）言語聴覚療法（個別療法）（5）精神科デイ・ケア、（6）精神科ナイト・ケア、（7）精神科デイ・ナイト・ケア

腫瘍マーカーは「患者の不安を軽減する必要がある場合」。リハビリテーションは「患者の治療に対する意欲を高める必要がある場合」。精神科専門療法は「患者家族の負担を軽減する必要がある場合」が併用の条件となります。

現行規定では【A F P】と【C E A】の測定は基本的に、悪性腫瘍の診断の確定または転帰の決定までの間に、1 回しか保険の算定はできません。そうすると、診察は「保険診療」で、回数をオーバーした【A F P】【C E A】検査費用は「自由診療」なので全額自費ということもありえます。医療上の必要性がほとんどなく、患者の不安軽減などのために行われるのであればいいのですが、何か釈然としない感も残ります。（白波瀬）（参考：日経メディカル 2005.11）

第 16 回京臨技北部学術発表会

日時：平成 17 年 12 月 10 日（土）

12：00～17：30

会場：綾部市 I T ビル

特別講演：四方八州男氏（綾部市市長）

教育講演：「標準採血法ガイドラインをめぐる諸問題」大西宏明先生（杏林大学臨床検査医学教室 講師）

シンポジウム：「採血に関する諸問題を語ろう」
一般演題

平成 17 年度 第 3 回理事会議事録

日 時：平成 17 年 9 月 8 日（木）18:30～20:30
場 所：京都保健衛生専門学校 2F 大会議室

議 長：清井

出席理事：清井・小坂・白波瀬・小澤・芦田・石澤・今井・
江見・菊地・白井・杉浦・林(孝)・廣瀬・山口・
若栗、委任状出席：荻野・林(雅)

欠席理事：佐々木、出席監事：なし、欠席監事：宮本・山方
出席顧問：田畑、日臨技理事：湯浅

【理事会活動】

平成 17 年度「クリーン作戦」：事務局周辺の清掃活動
平成 17 年 9 月 8 日 18 時 30 分から実施

【報告事項】

1. 会長報告

7 月 24 日（日）AM9:00～ 府立医大会議室；会計について
日臨技と打ち合わせ（中間総括）

8 月 26 日（金）PM4:00～7:00 ホテル京阪；会計について
日臨技と打ち合わせ（最終総括）

京都府保険医協会より議員フォーラムの開催よびかけあり、
賛同したが国会解散で中止連絡あり

日臨技より個人情報保護法施行に関する依頼あり
個人情報保護方針 個人情報保護管理規定の作成 情報
システム運用管理規定の作成

9 月の衆議院議員総選挙で自民党より清水鴻一郎氏推薦依頼
あり

日臨技関係 12 月の次期会長選挙について・理事選出につ
いて

2. 各理事・事業部報告

白波瀬副会長

第 16 回京臨技北部学術発表会の開催（日時：12 月 10 日
（土）12:00-17:30、場所：綾部市 IT ビル、内容：特別講
演（四方綾部市長）・シンポジウム（採血業務）、教育講演（検
討中）、一般演題）

石澤理事

精度管理について ・9/16（金）参加申し込み書発送（施設
単位） ・9/30（金）参加申し込み締切（必着）
・10/18（火）サンプル調整発送準備（京都保健衛生専門学
校） ・10/20（木）サンプル配布
・11/4（金）回答締切（必着）

小澤理事

・9 月分行事予定と研修案内 1003 通発送終了
・17 年度法人登記（役員変更：林彰彦理事退任・資産総額変更）
終了

・くらしと健康展委嘱状作成・発送終了 14 施設 28 名

・10 月分行事予定 9 月 20 日発送予定

荻野理事 くらしと健康展について

・7 月 27 日 第 3 回実行委員会（於：京都府医師会館） ・出
務予定者：9 月 17 日・18 日両日とも研究班委員-10 名と理事-4
名で対応 ・心電図・血糖・貧血（ヘモグロビン）検査を担当

江見理事

9 月 8 日現在の会員数：920 名（新入・再入：77 名を含む）

佐々木理事

会誌の総会合の原稿を印刷に回した。表紙は『桃』色にした。

菊池理事

9 月 7 日 京都府・京都市衛生登録検査所精度管理委員会に
出席（於：京都府庁 14 時～16 時） 検査所に関して特に問題は
なかった。医師会が行う精度管理では病院に検査値のバラツ
キがみられた旨の報告。

平成 18 年度も 17 年度と同様実施予定。

山口理事

・平成 18 年 島根県開催「日本医学検査学会」座長推薦依頼が
下記 3 分野有り、病理・臨床化学は班長を推薦した。遺伝子分
野は研究班がないので適任者があれば報告してください。

湯浅日臨技理事：日臨技の連絡説明会で下記が検討課題とし
て上った。

・日臨技の理事（任期：2 年で再任は妨げない）

・医学検査学会のあり方について

・2009 年国際学会の日本開催の是非

・精度管理のあり方と認定制度

【検討議題】

1. 臨時総会について

・日程の確認及び当日の任務分担および委任状 3 / 4 以上の回収

・日時：平成 17 年 10 月 13 日（木）18:30～19:30

・会場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

・臨時総会の案内等関係書類を施設連絡責任者宛に施設内会員
名簿と一緒に送り出欠と委任状の回収に協力を依頼する。又理
事は分担して回収を行う（分担は後日連絡）

2. 12 月京臨技定例理事会の綾部市開催について 承認

・12 月 10 日北部学術発表会の前後、時間は後日検討

3. 個人情報保護法関係の書類作成について

4. 精度管理責任者全国会議への派遣・・・石澤理事派遣 承認

・10 月 30 日（於：日臨技本部 第一会議室）

5. その他

・第 54 回日本医学検査学会の事務処理は順調に進行中

・10 月 1 日の救急救命講習会は講師 2 名なので受講者 50 名以
内とする

・編集の林理事退任に伴い業務引継ぎを至急行うこと、会誌の
保存についても誰が担当するか決める事、当面各行事に参加し
た理事は会誌用の写真と原稿を念頭に置くこと

次回理事会開催予定：平成 17 年 10 月 13 日（木）

19:30～ 京都保健衛生専門学校大会議室

以上で本日の理事会を終了。

議事録署名人

江見 安一

白井 孝夫

編集室のひきだし

インフルエンザ流行シーズンがやってくる。
原稿を書いている今、ワクチン接種時期である。昨
シーズン、インフルエンザワクチンの予防接種を受け
た人 1 万 4 3 6 4 人と、受けなかった人 3 1 0 1
人を登録して調査したところ、接種を受けながら発
症したのは 6 9 6 人（発症率 4.8%）。逆に受け
ない人のうち発症したのは 2 0 6 人（同 6.6%）
で、ワクチンの有効率は 2.7% だったそうである。
（日本臨床内科医会インフルエンザ研究班調べ）
そういえば昨シーズン、ワクチンをうたなかった
小生はインフルエンザに感染せず、接種した T 君は
タミフル処方してもらってたよなあ・・・。
小生、もちろん今年も接種しません。理由はひと
つ。痛いのが苦手ですから（キッパリ）（白）

社）京都府臨床衛生検査技師会

URL：http://www.kyoto-amt.js-md.net/

E.mail：office@kyoto-amt.js-md.net（事務局）